

令和6年度科学研究費採択状況

scientific research for fiscal 2022

	No	種目	研究者		研究 期間	新規 継続	【研究課題】
研究代表者	1	基盤研究(C)	国語国文学科	講師 今井 瞳良	R4 ～R8	継続	戦後日本の国立療養所における映画実践に関する研究
	2		英語英文学科	教授 北山 長貴	R5 ～R7	継続	二次元コードを利用した視覚障害児童用外国語活動教材を活用した学習モデルの構築
研究分担者	3	基盤研究(B)	社会情報学科	講師 高浜 快斗	R3 ～R6	継続	新規事業創造におけるスピンオフ手法に関する研究—所有構造と経営者の歴史に注目して—
	4	基盤研究(C)	日本史学科	教授 吉田 歓	R4 ～R7	継続	日中韓の王宮と官衙の比較宗教史研究

令和5年度科学研究費採択状況

scientific research for fiscal 2022

	No	種目	研究者		研究 期間	新規 継続	【研究課題】
研究代表者	1	基盤研究(C)	国語国文学科	講師 今井 瞳良	R4 ～R8	継続	戦後日本の国立療養所における映画実践に関する研究
	2		英語英文学科	教授 北山 長貴	R5 ～R7	新規	二次元コードを利用した視覚障害児童用外国語活動教材を活用した学習モデルの構築
	3		社会情報学科	准教授 比留間 浩介	R3 ～R6	継続	短距離走の授業において女子に特化した指導ポイント・学習法の必要性を検証する
	4	若手研究	国語国文学科	講師 岡 英里奈	R2 ～R5	継続	1890年代後半における「悲惨・深刻小説」の総合的研究
研究分担者	5	基盤研究(B)	学長	学長 阿部 宏慈	R2 ～R5	継続	社会とアートの共進化的動態とartificationの諸相に関する領域横断的研究
	6		日本史学科	教授 園部 寿樹	R3 ～R5	継続	地域における歴史意識の形成過程に関する研究—由緒関係文書の原本調査を踏まえて—
	7		日本史学科	教授 園部 寿樹	R4 ～R6	継続	中世地下文書の文書実践論的研究
	8		日本史学科	教授 吉田 歆	R2 ～R5	継続	平泉仏教文化の諸相とその社会的基盤に関する資料学的研究
	9		社会情報学科	講師 高浜 快斗	R3 ～R6	継続	新規事業創造におけるスピンオフ手法に関する研究—所有構造と経営者の歴史に注目して—
	10	基盤研究(C)	日本史学科	教授 吉田 歆	R4 ～R7	継続	日中韓の王宮と官衙の比較宗教史研究
	11		社会情報学科	講師 高浜 快斗	R2 ～R5	継続	浮世絵から照射する日本近代美術～日本近代美術再考～

令和4年度科学研究費採択状況

scientific research for fiscal 2022

	No	種目	研究者		研究 期間	新規 継続	【研究課題】
研究代表者	1	基盤研究(C)	国語国文学科	講師 今井 瞳良	R4 ～R8	新規	戦後日本の国立療養所における映画実践に関する研究
	2		社会情報学科	准教授 比留間 浩介	R3 ～R6	継続	短距離走の授業において女子に特化した指導ポイント・学習法の必要性を検証する
	3	若手研究	国語国文学科	講師 岡 英里奈	R2 ～R5	継続	1890年代後半における「悲惨・深刻小説」の総合的研究
研究分担者	4	基盤研究(B)	学長	学長 阿部 宏慈	R2 ～R5	継続	社会とアートの共進化的動態とartificationの諸相に関する領域横断的研究
	5		日本史学科	教授 藺部 寿樹	R3 ～R5	継続	地域における歴史意識の形成過程に関する研究—由緒関係文書の原本調査を踏まえて—
	6		日本史学科	教授 藺部 寿樹	R4 ～R6	新規	中世地下文書の文書実践論的研究
	7		日本史学科	教授 吉田 歆	R2 ～R4	継続	平泉仏教文化の諸相とその社会的基盤に関する資料学的研究
	8		社会情報学科	講師 高浜 快斗	R3 ～R6	継続	新規事業創造におけるスピンオフ手法に関する研究—所有構造と経営者の歴史に注目して—
	9	基盤研究(C)	日本史学科	教授 吉田 歆	H30 ～R3	継続	古代の宮中宗教行事に関する日中韓比較研究
	10		日本史学科	教授 吉田 歆	R4 ～R7	新規	日中韓の王宮と官衙の比較宗教史研究
	11		日本史学科	教授 原 淳一郎	R1 ～R3	継続	羽黒修験研究の宗教民俗学的再構築
	12		社会情報学科	教授 小池 隆太	R1 ～R4	継続	図像研究／物語研究の統合アプローチによるマンガメディア特性の解明
	13		社会情報学科	講師 高浜 快斗	R2 ～R5	継続	浮世絵から照射する日本近代美術～日本近代美術再考～

令和3年度科学研究費採択状況

scientific research for fiscal 2021

	No	種目	研究者		研究期間	新規継続	【研究課題】
研究代表者	1	若手研究(B)	社会情報学科	准教授 比留間 浩介	H29 ～R3	継続	短距離走における「肘を曲げて腕を前後に振る」指導方法を再考する
	2	基盤研究(C)	英語英文学科	教授 北山 長貴	R1 ～R3	継続	視覚障害児童の外国語活動のための二次元コード利用による教材開発研究
	3		社会情報学科	准教授 比留間 浩介	R3 ～R6	新規	短距離走の授業において女子に特化した指導ポイント・学習法の必要性を検証する
	4	若手研究	国語国文学科	講師 岡 英里奈	R2 ～R5	継続	1890年代後半における「悲惨・深刻小説」の総合的研究
研究分担者	5	基盤研究(B)	学長	学長 阿部 宏慈	R2 ～R5	継続	社会とアートの共進化的動態とartificationの諸相に関する領域横断的研究
	6		日本史学科	教授 藺部 寿樹	H30～ R3	継続	地下文化論による中世文学資料研究の再構築
	7		日本史学科	教授 藺部 寿樹	R3 ～R5	新規	地域における歴史意識の形成過程に関する研究—由緒関係文書の原本調査を踏まえて—
	8		日本史学科	教授 吉田 歆	R2 ～R4	継続	平泉仏教文化の諸相とその社会的基盤に関する資料学的研究
	9		社会情報学科	講師 高浜 快斗	R3 ～R6	新規	新規事業創造におけるスピンオフ手法に関する研究—所有構造と経営者の歴史に注目して—
	10	基盤研究(C)	日本史学科	教授 吉田 歆	H30～ R3	継続	古代の宮中宗教行事に関する日中韓比較研究
	11		日本史学科	教授 原 淳一郎	R1 ～R3	継続	羽黒修験研究の宗教民俗学的再構築
	12		社会情報学科	教授 小池 隆太	R1 ～R4	継続	図像研究／物語研究の統合アプローチによるマンガメディア特性の解明
	13		社会情報学科	講師 高浜 快斗	R2 ～R5	継続	浮世絵から照射する日本近代美術～日本近代美術再考～

令和2年度科学研究費採択状況

scientific research for fiscal 2020

	No	種目	研究者		研究 期間	新規 継続	【研究課題】
研究代表者	1	若手研究(B)	社会情報学科	准教授 比留間 浩介	H29 ～R2	継続	短距離走における「肘を曲げて腕を前後に振る」指導方法を再考する
	2	基盤研究(C)	英語英文学科	教授 北山 長貴	R1 ～R3	継続	視覚障害児童の外国語活動のための二次元コード利用による教材開発研究
	3	若手研究	国語国文学科	講師 岡 英里奈	R2 ～R5	新規	1890年代後半における「悲惨・深刻小説」の総合的研究
	4		英語英文学科	准教授 小林 亜希	R1 ～R2	継続	冷戦期ディストピア表象における集団的記憶と終りの意識の研究
研究分担者	5	基盤研究(B)	学長	学長 阿部 宏慈	R2 ～R5	新規	社会とアートの共進化的動態とartificationの諸相に関する領域横断的研究
	6		日本史学科	教授 藺部 寿樹	H29 ～R2	継続	中世・近世在地文書の様式・機能の変遷と中世文書の構造的変容に関する研究
	7		日本史学科	教授 藺部 寿樹	H30 ～R3	継続	地下文化論による中世文学資料研究の再構築
	8		日本史学科	教授 吉田 歆	R2 ～R4	新規	平泉仏教文化の諸相とその社会的基盤に関する資料学的研究
	9	基盤研究(C)	日本史学科	教授 吉田 歆	H30 ～R3	継続	古代の宮中宗教行事に関する日中韓比較研究
	10		日本史学科	教授 原 淳一郎	R1 ～R3	継続	羽黒修験研究の宗教民俗学的再構築
	11		社会情報学科	教授 小池 隆太	R1 ～R4	継続	図像研究／物語研究の統合アプローチによるマンガメディア特性の解明
	12		社会情報学科	講師 高浜 快斗	R2 ～R5	新規	浮世絵から照射する日本近代美術～日本近代美術再考～